

企画資料

2022年3月23日 (Rev.0)

東雲 輝之

- 企画名 エアライフル猟の教科書 改版
- 概要 改版版の修正・追加事項の打ち合わせ
- 進行予定 2022年3月末 改版の方針についてWebでお打ち合わせ →
4月初旬 写真の追加撮影 →
4月中旬に原稿・イラストの修正、写真の差し替え作業開始 →
4月末に秀和システム社に入稿 →
6月上旬に刊行
- 製作 担当責任者：東雲 輝之

企画主旨



2017年に秀和システム社から刊行された『これから始める人のためのエアライフル猟の教科書』が、2022年6月上旬に増版されることが決定しました。しかし、本書籍は初版から5年経過しており、古い情報も多く含まれています。そこで今回の増版では、内容を大幅にリニューアルし、新しいコンテンツを追記する改版作業を行います。

つきましては、各章の修正点・追記事項に関してお打ち合わせをお願いします。

■第1章：法律・知識

狩猟免許を取得しよう

エアライフル猟を始めるためには、まず狩猟免許を取得しなければなりません。狩猟免許試験は筆記試験、適性試験、技能試験の3つのステージがあり、法律の語や銃の取り扱い方など聞き慣れない語が沢山でてくるので、しっかりと予習して試験にのぞみましょう！

1. 受験の申し込み

狩猟免許試験の申し込み先は、あなたの住民票が属している都道府県になります。窓口は都道府県によって異なるので、手始めにインターネットで都道府県名と「狩猟」で検索をかけて申請先を見つけてください。もし見つからなければ地元の特設店に尋ねてみると窓口を教えてもらえます。

エアライフル猟は第二種銃猟免許を受ける

エアライフル猟をしたい人は、4つある狩猟免許区分のうち**第二種銃猟免許**を受験します。しかし、もしあなたが今後銃弾を持ちたいと思っているならば、**第一種銃猟免許**を受験しておくのがおすすめです。第一種銃猟免許試験は第二種より試験内容が難しくなります。

受験申請に必要な書類

受験申請には次のものが必要です。

1. 狩猟免許申請書
2. 写真1枚

3. 医師の診断書
4. 受験料5,200円

1)の**狩猟免許申請書**は都道府県ごとにフォーマットが異なります。インターネットからダウンロードして印刷するか、支部猟友会、または地元の特設店に印刷物が用意されているので、受け取って記入してください。

3)の**医師の診断書**は総合失調症や麻薬、覚せい剤中毒等でないことを証明する書類です。診断書のフォーマットも1)の申請書と同様にインターネットからダウンロードするか猟友会支部・地元の特設店から事前に受け取っており、精神科医、もしくはかかりつけの医師の診断を受けてください。獣医師等とは一切離れて、どこの特設店に行ってもいいか全く見当もつかない場合は特設店で聞いてみると良いところを紹介してくれるかもしれません。

猟期に間に合うように受験のスケジュールを立てよう！

試験の開催日時や頻度は都道府県により異なるので、試験日程をよく確認して猟期から逆算して受験のスケジュールをたてましょう。従来は年に2、3回程度しか開催されていませんでしたが、近年狩猟人口の減少に歯止めをかけるために年5、6回開催する都道府県が増えてきたのでスケジュールは組みやすくなっています。

2. 予備講習

狩猟免許試験は銃の取り扱い方や射撃姿勢など練習が必要な内容も含まれているので、各都道府県猟友会が主催する**狩猟免許試験の予備講習会**には必ず参加しておきましょう。

予備講習への参加申請は受験申請時にアタックスがあり、どこも都道府県でも試験1週間前の土曜や日曜に行われます。

受験申請先は住民票を置いていない都道府県！住民票を動かしていない人は地元まで試験と予備講習を受けに行かないといけないから注意！

1章に関しては、東雲の方で改版原稿を作成します。下記事項についてアドバイス等ありましたら、お願いいたします。

1. 法規について

2017年時点から特に法律に関する改正は無いはずなので、大きな修正は必要ないと思います。何かご指摘があればお願いします。

2. 鉛規制について

段階的かとは思いますが、ペレットの鉛弾規制について追記をした方が良いと思います。現状と今後の予想についてアドバイスをお願いします。

3. ライフル射撃場での使用許可について

近年、ライフル射撃場での大口徑エアライフルの使用が、各射撃場で認められるようになりました。本件についてアドバイスがあればお願いします。

4. その他、法規に関して

上記以外で法規に関する修正・追加事項があれば、アドバイスをお願いします。

■第2章：エアライフルを知ろう



2章の改版作業は、ひとまず佐藤さんの方で修正・加筆する内容をご検討いただき、東雲の方でラフを作成します。そのラフに合わせる形で、原稿のご執筆をお願いします。以下、修正・加筆に関するご提案事項です。

1. 非鉛弾による影響について

非鉛規制の話に伴い、射撃にどのような影響があるか、追記をお願いします。非鉛に完全移行するのは時間がかかると思うので、鉛・非鉛の両方について紹介する形になります。

2. エアレギュレータについて

近年のエアライフルにはレギュレータ付きの物が多くなっているため、レギュレータの仕組みについて詳しい解説をお願いします。

また、初心者の中にはレギュレータが“万能装置”だと勘違いしている人も多いようなので、デメリットについての解説も合わせてをお願いします。

	メーカー	機種名	IN/OUT
1	FXエアガンズ	ストリームライン	
2	FXエアガンズ	ボブキャットMk-2	
3	FXエアガンズ	トルネード	
4	FXエアガンズ	グラディエーターMK-2	
5	FXエアガンズ	モンスーン	
6	FXエアガンズ	サイクロン	
7	FXエアガンズ	ロイヤル350	
8	エアアームズ	S510	
9	エアアームズ	ガラハド	
10	エバニクス	レインストーム	
11	コメタ	オリオン	
12	デイステート	ウルバリン	MK2に修正？
13	デイステート	エアレンジャー	
14	ワルサー	1240ドミネーター	
15	キャリバーガン	クリケット	
16	エドガン	マタドール	
17	エアフォース	コンドル	
18	シャープ	エースハンター	唯一のポンプ式なのでOUTしない

19	ホーク	55G	唯一のガス式なのでOUTしない
20	ダイアナ	M50	
21			最新式のスプリングを紹介？
22			

6. アクセサリーについて

旧版ではバイポッドなどのアクセサリについての記述が少ないように感じます。オススメのアクセサリなどがあれば、追記をご検討ください。

■第3章：エアライフル猟を始めよう



3章に関しては、東雲の方で改版原稿を作成します。以下、アドバイス等お願いいたします。

1. 猟法について

旧版では、流し猟、忍び猟、待ち猟、集団猟の4つの猟法を紹介しています。この5年で新しい猟法が登場したという話は聞かないため、修正点は少ないと思いますが、何か「最近エアライフルでこんな猟をしている人がいる」といった話があれば教えてください。

2. サーマルスコープ

旧版のP182でサーマルカメラを紹介していますが、一般的にあまり使われていない印象を受けます。修正、もしくは差し替え案があればお願いします。

3. 射撃術

射撃に関しても特に大きな修正は無いと思いますが、ゼロインや射撃姿勢、照準の付け方、引き金の引き方などについて最新の知見があれば、アドバイスをお願いします。

4. 弾道計算アプリ

旧版では、Hawke社の“ChairGun”というアプリを紹介していますが、何か他に良い弾道計算アプリなどがあれば、アドバイスをお願いします。

■第4章：ジビエ料理



4章の料理やレシピについては、編集部の意向で1～2割は内容を入れ替えたいそうです。料理の写真については、佐藤さんが持たれている物を使用するか、4月に取材にお伺いした際に撮影をしたいと思います。ひとまず下記内容についてご検討ください。

1. パンについて

編集者より、「佐藤さんは結構な頻度でパンを食べている気がします。326ページからの「ジビエを食べよう」と、352ページからの「ジビエパーティーを始めよう」にそれぞれパンを入れてはどうでしょうか」とのことです。

ジビエ（野鳥料理）&パンでレシピ&写真があればご教授ください。

2. アルミホイルレシピ

佐藤さんのご著書である『アルミホイルソロキャンレシピ』に連動する企画として、アルミホイルを使った野鳥料理のレシピを紹介したいと思います。何か案がありましたらご教授ください。

3. ソロキャンジビエ料理

旧版ではP188～189の2ページを使って、『キャンプ料理に使うストーブ類』に関する記事載せています。この2ページを『ソロキャンジビエ料理を作ってみよう』みたいな企画に変更するのはいかがでしょうか？ソロキャン料理に使用する道具についてご教授ください。

■追加コンテンツ

今回の改版では20ページ程度の増ページと、新しいイラストを10点程度追加することができます。そこで、以下のような追加コンテンツを考えています。

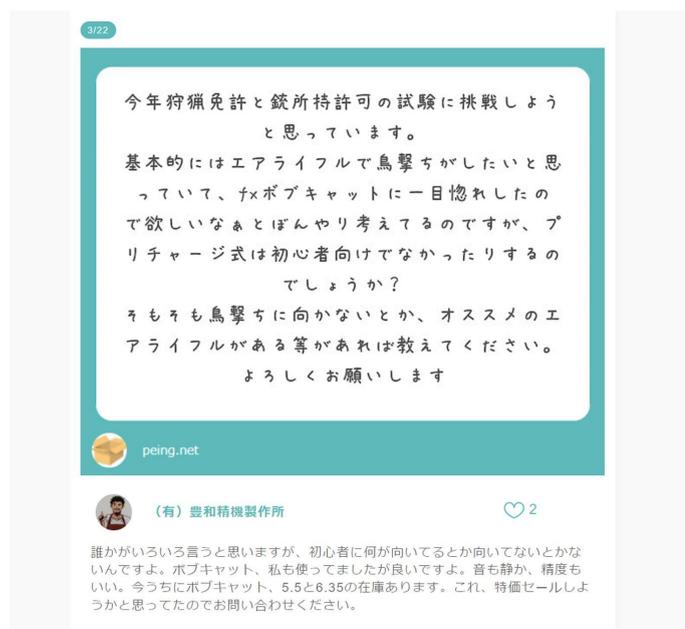
1. 追加マンガ



今回の改版ではマンガを+2本追加したいと思います。佐藤さんの方にネームを1本お願いできませんでしょうか？

もう1本については東雲の方で考えます。今のところ『仕留めたカモの回収方法』についての追加マンガを考えています。

2. Twitter質問箱ダイジェスト



佐藤さんがTwitterで行われている質問箱のなかには「なるほど、こんな疑問があったのか！」と思われた質問もあると思います。そこで良い質問をいくつかピックアップして、「銃砲店店主Q&A」のような形で掲載するというのはいかがでしょうか？

以上となります。ご検討のほどよろしくお願いいたします。